

神戸山手女子中学校高等学校

2021年度

第1回学習塾対象学校説明会

合併による中高大連携で 生徒ファーストを実現

2021年6月10日(木)

関西国際大学 尼崎キャンパス
KUISホール

今年で創立97年目を迎える、名門私立の神戸山手女子中学校高等学校。伝統に甘んじることなく、昨年には学校法人濱名学院と合併し、関西国際大学との中高大連携が叶った。未来型女性リーダーの育成を掲げ、新たな一歩を踏み出す本校の取り組みや展望、入試説明に、当日集まった多くの学習塾関係者が熱く注目した。

理事長挨拶

濱名 篤 理事長

昨年に学校法人濱名学院と学校法人神戸山手学園が合併しました。関西国際大学には、女性が職業人として自立するための教育学部や看護系の保健医療学部など6学部があるということで、今後は高大連携を強化していこうと考えています。神戸山手女子中高はこれからの時代にあった自律的・能動的な生き方のできる女子教育に、平井校長



濱名 篤 理事長

とタッグを組みいかにして強化すべきかが課題となってきます。

今年から学院として3つの教育ミッションを定めました。1つ目は情報の伝達収集、チューニングの経験を積ませる「Communication」。2つ目は自分の頭で考察考慮できる「Consideration」。3つ目は社会に参画する「Commitment」です。今後、皆様のご理解ご支援を仰ぎながら、新たな可能性を拡げていきたいと考えています。生徒たちがこれから自らの人生を生きていく力をしっかり育てていく学校にしたいと思っています。

学校の取り組み及び中高入試説明

平井 正朗 校長

本校の教育ミッションは未来型女性リーダーの育成です。そのためには、正解のない問題に取り組み探究教育、4技能5領域を基にした英語教育、EdTechが中心のICT教育、伝統の音楽教育、中高大の連携教育を生徒たちに提供することで、成長を実感

できる教育を実践していきたいと考えています。

教職員スタッフに求めているのは、生徒ファーストと面対の良さ。さらには進路満足度100%。学校生活において、生徒一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出し、生徒一人ひとりに「学力の伸び」を実感させる指導を展開した上で、本当に進みたいと思う進路先を探究、夢を実現させることです。

そのために中高では基礎学力育成を重視。到達度に応じたEdTech教育をはじめとする教材を活用して、アダプティブ・ラーニング（個別最適化学習）を浸透させていきます。

私学の良さは何かというと、生徒に寄り添い、教育ミッションに基づく生徒に成長にさせることです。学習面では定期考査でも基礎と応用の問題を分け、生徒たちに振り返ってもらう時間を大切にしています。

高校では「選抜コース」「未来探究コース」「音楽科」の3つがあります。中堅公立や関関同立を目指す選抜コ



平井 正朗 校長

ース。未来探究コースは、興味・関心を中心に関西国際大学や有名私立大学へ入る学力をつけます。生徒たちに人気のある6学部7学科を擁する関西国際大学との高大連携はさらに強化したいと考えています。

次に入試です。中学入試は日程を増やし、統一入試日となる1月第3週土曜日の初日、2日目、3日目、そしてもう1月22日(土)としました。グローバル方式では英語の作文は日本語に変更。国算以外に選択科目として英語も追加しました。英語重視型は英検やTOEIC等の資格を送ってください。オープンスクールは10月24日(日)、プレテストは10月16日(土)、11月20日(土)です。

高校入試のほうでも、グローバル方式を英語重視型に変更、英語の作文は日本語としました。伸ばす山手に期待していただきたいと思います。

最後に、法人専務理事・事務局長の横田利久氏より「中高改革に実績豊かな平井校長の就任を得て、法人・経営陣としては平井校長を全面的に支援し、神戸山手女子中高の生徒たちが元気に学び、育ち、一人でも多くを送り出したいと念じております。皆様におかれましてもご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます」と閉会の挨拶があり、終了となった。